

平成 20 年度第 5 回北九州市高齢者介護の質の向上委員会 会議要旨

1 開催日時

平成 21 年 3 月 27 日 (火) 19:00 ~ 20:30

2 開催場所

北九州市役所本庁舎 3 階 大集会室

3 出席者等

(1) 委員

井田委員、一広委員、今村委員、大中委員、尾籠委員、小林委員、菅中委員、高田委員、田中(秋)委員、田中(徹)委員、富安委員、中野委員、中村委員、橋元委員、原田委員、箱崎委員、舟谷委員、村上委員、渡邊(正)委員 計 19 名

欠席者 伊藤委員、河原委員、小金丸委員、下河辺委員、白木委員、宮崎委員、吉田委員、渡邊(良)委員 計 8 名

(2) 事務局

保健福祉局長、地域支援部長、介護保険・健康づくり担当部長、計画調整担当課長、高齢者支援課長、いのちをつなぐネットワーク推進課長、健康推進課長、健康づくり担当課長、介護保険課長、事業者支援担当課長 ほか 計 31 名

(3) 傍聴者

計 18 名

4 会議内容

(1) 平成 21 年度地域包括支援センターの人員体制について

(2) 各専門委員会からの報告

- ア 地域包括支援センター及び介護予防評価専門委員会
- イ 地域密着型指定専門委員会

(3) 「第二次北九州市高齢者支援計画」について

- ア 第二次北九州市高齢者支援計画について
- イ 第 4 期介護保険事業計画について
 - 第 4 期介護保険料について
 - 介護保険制度に係る国の動きについて

(4) 第 10 回介護保険推進全国サミット in 北九州について

5 内容及び発言趣旨

(1) 「平成21年度地域包括支援センターの人員体制について」・・・資料1

(2) 各専門委員会からの報告について

ア 地域包括支援センター及び介護予防評価専門委員会・・・資料2

【発言趣旨】

委員：ネットワークの構築については、情報化社会のなかで迅速に情報を交換し、共有出来るよう、インターネット等の環境整備も必要である。

委員長：自己点検結果については、全体的に良くなっている様である。

ただし、地域によりばらつきがあるため、今後は、この差をなくしていくことが課題ではないかと思う。

イ 地域密着型指定専門委員会・・・資料3

(3) 「第二次北九州市高齢者支援計画」について

ア 第二次北九州市高齢者支援計画について・・・資料4、資料5、参考資料1

【発言趣旨】

委員長：心配ごと相談事業については、どのような利用状況か。

事務局：区によって、若干違いがあるが、全体として減少傾向である。法律相談事業については、ニーズが高い。

イ 第4期介護保険事業計画について

第4期介護保険料について・・・資料6

介護保険制度に係る国の動きについて・・・資料7

【発言趣旨】

委員：要介護認定の見直しについては、認知症の方の状態をきちんと反映出来るのか不安である。

事務局：このたび、認定調査員テキストについては、解釈の明確化が図られた。

認知症の方の状態については、買い物項目だけでなく、様々な調査を行い介護の手間を把握している。

委員：今回の追加項目については、主観的な判断にならないよう研修等を行うとともに、現場で混乱が起きないようにしていただきたい。

事務局：国の訪問調査員テキストでは、選択基準を細かく記載しており、判断のばらつきをなくしている。

また、特記事項をきめ細かく記載し、個別の状態を把握することとなっているため、訪問調査員への研修においては、選択基準と特記事項の記載方法について、特に重点的に実施したところである。

要介護認定については、制度の入口部分であるため、訪問調査の質の確保に努めるとともに、問題点については、今後も国に対し要望等を行って行きたい。

(4) 第10回介護保険推進全国サミット in 北九州について・・・参考資料2